



田原市立泉小学校 令和6年度3月号

令和7年3月24日

泉小だより

清美
校訓

学校教育目標 心豊かでたくましい子 ○深く考える子 ○がんばりぬく子 ○助け合うやさしい子

輝かしい未来への挑戦 ～ 第78回卒業証書授与式 ～

校長 小野 勇一

3月19日、本校卒業生22名の巣立ちの日。寒さの厳しい朝となりましたが、次第に春らしいやわらかな日差しが感じられるようになり、多くの保護者や来賓の方々に卒業生の前途を盛大に祝福していただきました。誠にありがとうございました。

厳粛な雰囲気の中、真新しい制服姿の卒業生が、緊張感をもちつつも凛々しい表情で入場してきました。卒業証書の授与では、返事や仕草はもちろんのこと、卒業生の目の輝き、そして表情に、卒業する喜びや新たな旅立ちへの決意を感じることができました。子どもたちの成長を間近で感じられ、幸せな時間となりました。



お別れの言葉では、懐かしい思い出を振り返りながら、卒業生と在校生の呼びかけの言葉と真剣な態度から、お世話になった方々への感謝の気持ちや泉小学校を大切にしようという思い、新たな年度への意気込みなどが力強く伝わってきました。卒業生の合唱「道」や児童・職員での校歌斉唱など、みんなの心を一つにすることの素晴らしさを改めて感じることができました。卒業生のみなさんが、志をもって未来へと力強く挑戦し、人生をたくましく切り拓いていくことを心より願っています。

— 1・2年生 お別れ式 —

卒業式前日、式に参加しない1・2年生と卒業生とのお別れ式を行いました。たてわり班活動や通学班での登下校など、さまざまな場面で6年生にお世話になりました。特に1年生は、日々の教室掃除のお手伝いなど、6年生との関りが深いです。

1・2年生は、いずみ鉢物園芸組合様からいただいた花の苗を感謝の気持ちを込めて寄せ植えにし、6年生へプレゼントしました。

お別れ式は、式典の流れに沿って行い、1・2年生から感謝の言葉を伝えました。卒業合唱の歌声に、別れを惜しみ、涙する子も見られました。小さな子にとっても、大切な節目を感じられた時間となりました。



想いを「言葉」に



↑卒業記念に「今の思い」を自由な発想で書に表現しました。

↓保護者の発案によるカラーマムによる花文字「夢」。親の温かみを感じられます。



— 自分のよさを表現できる仲間づくり ～ 特技ヒーロー ～ —

先日、児童会主催の「特技ヒーロー」が企画、開催されました。多くの子どもたちが参加し、跳び箱やなわとび、ダンス、体操、トスバッティング、バットでのお手玉、ピアノ、ギター、暗唱、ルービックキューブ、コントなど、実に多岐に渡る演目で、自分の特技や練習した成果を披露しました。観客からは感嘆の声や笑い声、惜しめない拍手が贈られました。

子どもたちが自分のよさを自由に表現し、互いを認め合う風土をつくっていくためのよい機会となっています。今後も、児童会・委員会活動やたてわり班活動などを通して、子どもたちが主体的に考え行動する力を育てていきたいと考えています。



— 本の世界への道案内 ～ 読み聞かせボランティア ～ —

本年度、「まつぼっくり」のみなさんによる読み聞かせを年間12回、実施していただきました。先日、最後の読み聞かせが終わると、各教室では子どもたちから感謝の言葉が贈られました。長年の継続した活動のおかげで、子どもたちの豊かな感性が培われています。

